

# 見やすい、路線図 学生考案

## 魅力アップ 名古屋芸大協力

### 津島のふれあいバス

津島市内を1乗車100円で走るコミュニティバス「ふれあいバス」の魅力を高めようと、名古屋芸大(北名古屋)の学生が、新たな路線図と時刻表を作成した。バスの乗り方をアニメで紹介する動画をつくったグループもあり、ふれあいバスを若い視点で盛り上げる。

ふれあいバスの乗客数は2019年度、6万3281人と過去最多を記録。しかし、20年度はコロナ禍のため、昨年4月から今年1月までの乗客は3万9166人と低調に推移している。

津島市と協定を結ぶ同大は昨年、停留所の標識をデザイン。今回は、同大ヴィジュアルデザインコース2年の学生24人が昨秋から、市職員らから課題を聞いたり、実際にバスに乗ったり、市民の話に耳を傾けたりして路線図と時刻表のデザインなどを考案した。

路線図と時刻表に採用されたのは、最優秀賞に選ばれた吉田海斗さん(20)の作品。これまでの路線図は、実際の道のりに合わせて、複雑に曲がりくねっていたが、一目で分かるようにシ

ンプルに色分けした。吉田さんは「大きな字にして、だれにでも見やすいようにこだわった」とアピールする。来年度中に、全バス停に設置される予定だ。

また、グループによる作品もあり、バスの乗り方をアニメで紹介する約10分間の動画「はじめてのふれあいバス」を制作。かわいらしい女の子「ふれあいちゃん」らが、乗車時に整理券を取り、降りる時に整理券と運賃100円を支払う流れなどを解説。声優を指して勉強する学生にセリフを吹き込んでもらった。

キャラクターを考えた東風花さん(20)、高島優香さん(20)は「バスの乗り方を知らない人もいいると思う。小学生でもわかるように工夫した」と話した。



最優秀賞の路線図と時刻表を手にする吉田さん(津島市で)